

平和学習用の冊子寄贈

富士山静岡倶楽部 静岡市児童へ

日野原重明記念富士のき」を静岡市に寄贈した。冊子は市内の市立小学校に通う6年生ら関係者が市役所静岡

約6300人に配布する。木宮順子事務局長

成代表)は7日、平和の大切さを伝える冊子「しずおか奇跡のくす



冊子を手渡す関係者ら＝静岡市役所静岡庁舎

庁舎を訪れ、小長谷重之副市長に冊子を手渡した。

「奇跡のくすのき」は葵区の静岡赤十字病院前に生える1本のクスノキを題材にした物語。クスノキは1945年の静岡大空襲で焼け焦げたが、3年後に幹から新芽が出てよみがえった。物語では、クスノキの復活とともに、戦争からの復興を果たした静岡人の不屈の精神を紹介している。

同倶楽部は冊子の寄贈を2014年から続けてきたが、当初からの予定で今年が最後になる。市内の国立、私立の小学校に通う6年生にも配布する。

2019年2月8日 (金) 静岡新聞 朝刊